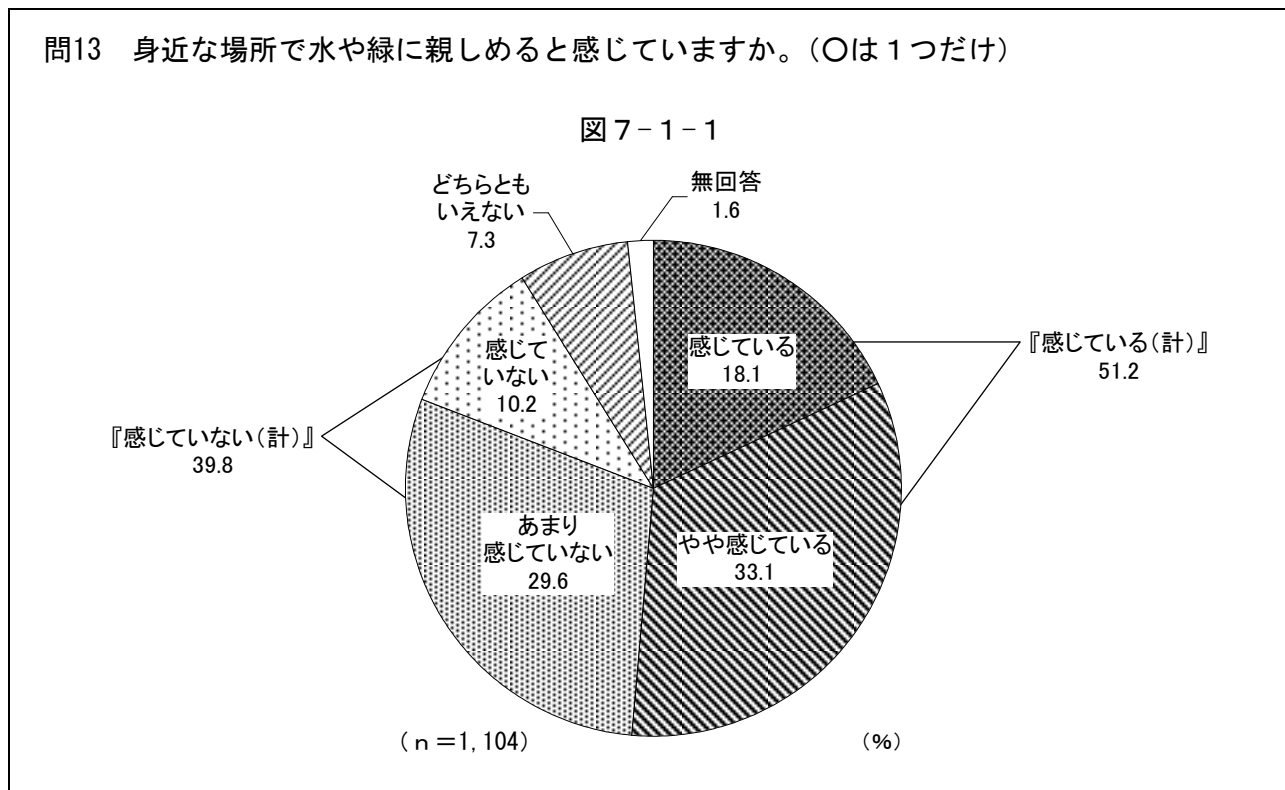


《基本目標2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く<sup>まち</sup>都市》

7. 潤いとやすらぎのあるまち

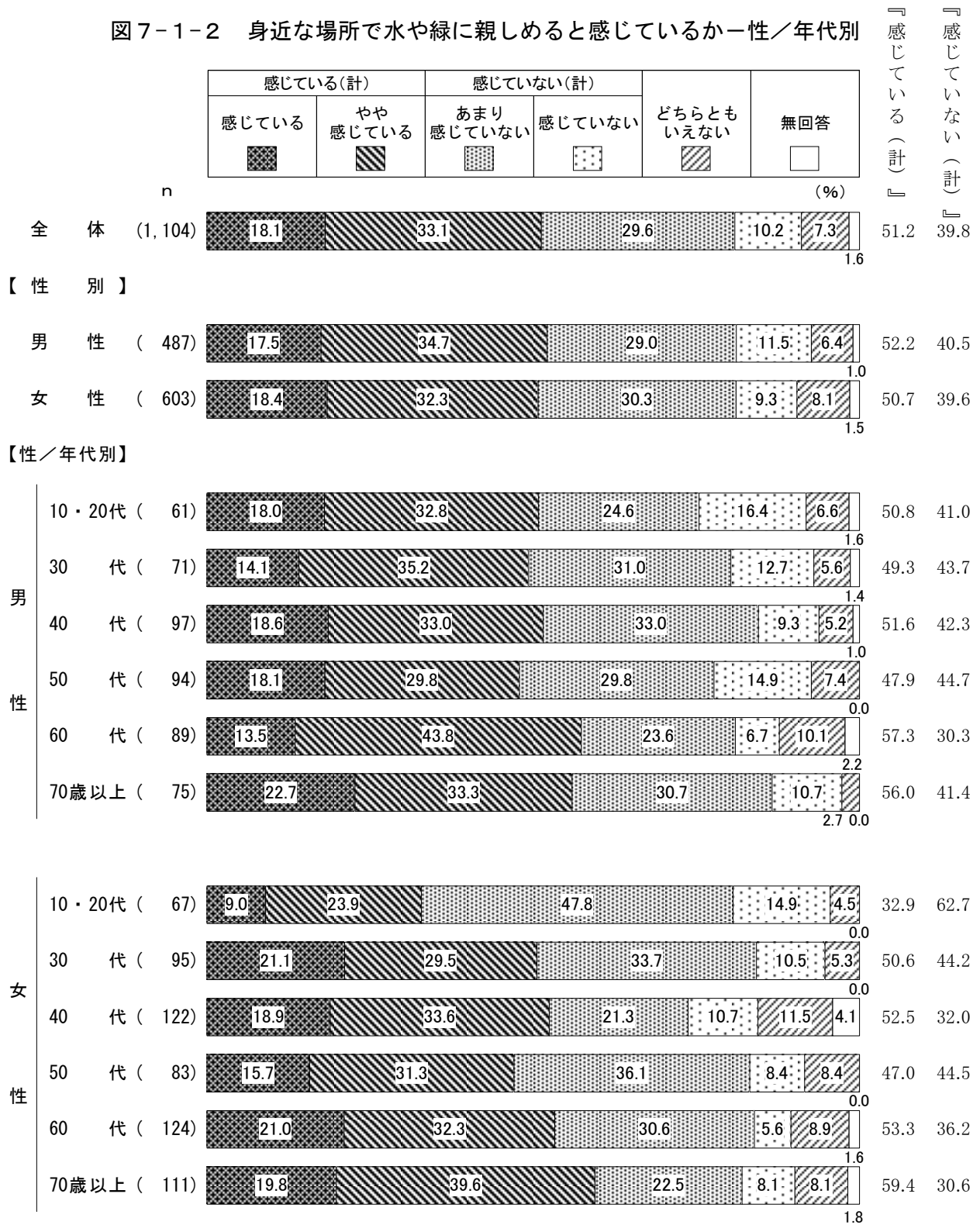
(1) 身近な場所で水や緑に親しめると感じているか

◇「感じている」と「やや感じている」を合わせた『感じている(計)』は5割を超える



身近な場所で水や緑に親しめると感じているか聞いたところ、「感じている」(18.1%)と「やや感じている」(33.1%)を合わせた『感じている(計)』(51.2%)は5割を超えて高くなっている。一方、「あまり感じていない」(29.6%)と「感じていない」(10.2%)を合わせた『感じていない(計)』(39.8%)は4割となっている。(図7-1-1)

図 7-1-2 身近な場所で水や緑に親しめると感じているか—性／年代別

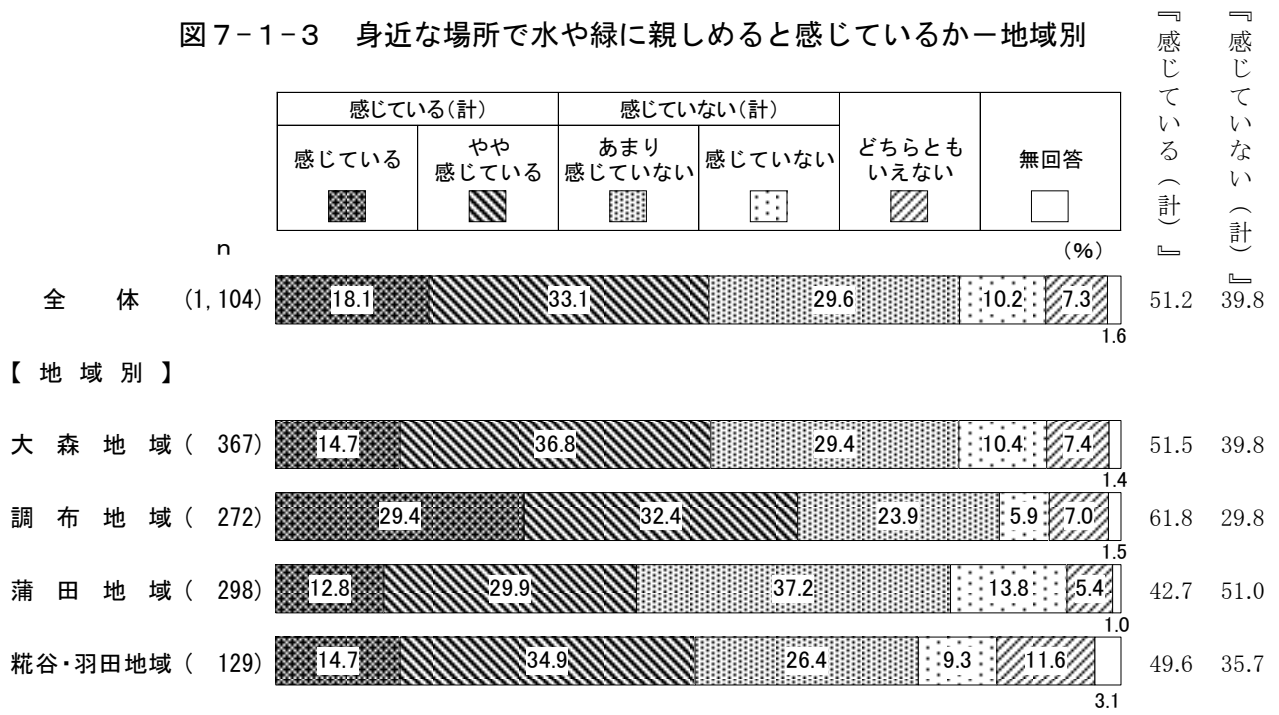


性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年代別でみると、『感じている(計)』は女性70歳以上(59.4%)で約6割と高くなっている。一方、『感じていない(計)』は女性10・20代(62.7%)で6割を超えて高くなっている。

(図 7-1-2)

図7-1-3 身近な場所で水や緑に親しめると感じているかー地域別



地域別でみると、『感じている(計)』は調布地域(61.8%)で6割を超えて高くなっている。一方、『感じていない(計)』は蒲田地域(51.0%)で5割を超えて高くなっている。(図7-1-3)